

116 昭和時代 憲政の常道と相次ぐ「恐慌」

“憲政の常道” とは

第二次護憲運動以降、元老西園寺は衆議院第1党の党首に内閣を任せつづけてきました。まるであたかも政党内閣の制度が日本に成立したかのようです。この政党内閣の慣行を憲政の常道とよびました。

政党内閣期（憲政の常道時代）のテーマ

行き過ぎた資本主義の中で恐慌が相次いで起こり、国民の生活は破綻していきます。相次ぐ恐慌にどう対応できるか、裕福な華族・財閥と圧倒的に貧しい小作農や都市貧民との格差是正が国民の願いです。政党は期待に答えられたのでしょうか。

< 加藤高明 内閣 > (護憲三派内閣)

総選挙の結果、護憲三派のうち憲政会が第1党となったので、憲政会党首の加藤が総理大臣になりました。他の政友会や革新倶楽部の政党员も協力して入閣しました。



1925 日ソ基本条約 (日ソ国交樹立)

日本経済の発展のために隣国ソ連との貿易再開を目指し、社会主義国ソ連とも国交を樹立しました。ソ連からは製品だけでなく思想も入ってくるのが危惧されました。

1925 男子普通選挙法 公布

正確には衆議院議員議員選挙法改正。

納税資格を撤廃し、満25歳以上のすべての男子に選挙権が与えられました。日本本土に住む台湾人・朝鮮人も日本国籍があるので選挙権があり、朝鮮人代議士も当選しました。逆に日本人であっても朝鮮総督府、台湾都督府・関東州の日本人役人などは、日本本土に住んでいないので選挙権なしでした。在外投票制度は2000年からです。それから、明治天皇が定めた軍人勅諭により軍人は政治的中立が求められました。そのため軍人も選挙権がありませんでした。

※1924 市川房枝ら 婦選獲得期成同盟会

1925 治安維持法 公布

・ 国体 を変革または 私有財産制 を否認を目的とする結社に加入した者は10年以下の懲役に処す

1925 憲政会単独内閣となる
明治末に桂太郎が作りかけた立憲同志会がルーツの政党です。

1926 加藤高明在任中に病死
加藤姓の総理は二人とも総理在任中に病死しています。

< 若槻礼次郎 内閣 > (憲政会内閣)

病死した加藤の跡を継いだ憲政会内閣です。

1926 大正天皇崩御、昭和 と改元

(一せ一元の制 にもとづく)
天皇の代替わり以外では元号は変わりません



1925 中国で 孫文 病没 (@ 広州)

義弟の 蒋介石 が後継者 (@ 広州)

中国国民党のトップとなります。政党ですが、軍を持っている政党です。中国共産党も軍を持っています。蒋介石の政府を国民政府といいます。



1925 上海で列強の企業の支配に抗議する 五・三〇事件 在華紡に多大被害

1926 蒋介石が 国権回収運動 を唱えて

北伐 開始

英国や日本などが中国で獲得した権益 (香港や上海租界、満州鉄道、山東省済南の日本人居留地)などを列強に与えた条約を否定し、国権回収運動と中国統一を唱えて広州から出撃しました。

1927 金融恐慌

関東大震災で決済不能となった手形の決済が進まず、銀行はお金を回収できないので資金繰りが悪化していました。そこへ大蔵大臣の片岡直温 (かたおか なおはる) が議会で「渡辺銀行が危ない」と失言してしまいました (実際は資金が確保できた)。そのため渡辺銀行や零細銀行の預金者が銀行に殺到、多くの銀行が休業に追い込まれました。



1927年、銀行に預金の払い戻しを求めて殺到する群衆と整理に当たる警官。(教科書掲載の写真より)

・特に大戦中急成長した 鈴木商店 が破綻し、融資していた台湾銀行が経営危機に。

・ 台湾銀行救済緊急勅令 案

→緊急勅令案を 枢密院 が否決

若槻内閣は、不良債権を抱えた台湾銀行を急いで救済するために、緊急勅令によって救済しようとしたが、若槻内閣の外交方針を不満とする枢密院によって否決されてしまいました。金融恐慌の解決の道を見失った若槻内閣は総辞職しました。